

# 出前授業のご案内



港湾職業能力開発短期大学校神戸校



## 神戸が「輸出量日本一のモノ」を知っていますか？

神戸が日本発となった輸入品は数多くありますが、コーヒーもその一つです。

コーヒーを初めて輸入したのは神戸港でしたが、日本で初めてコーヒーを提供した喫茶店があったのも神戸でした。1878年(明治11年)に神戸・元町の商店『放香堂』が開いたもので、新聞に広告も出していたそうです。『放香堂』は、神戸港の開港した1867年(今から151年前!)に、緑茶とコーヒーの貿易を始め、1874年(明治4年)には宇治茶専門店でもコーヒー豆の販売を始めています。

現在も神戸には、大手コーヒーメーカーやコーヒー豆の焙煎工場、コーヒー豆の品質管理などに優れた倉庫が多くあります。

そして現在では、コーヒーは輸入されるだけでなく日本から輸出もされ、神戸港は10年以上コーヒーの輸出日本一を誇っています。

2017年は、日本から1,119トン 約12億9900万円が輸出され、そのうち1,118トン 約12億9100万円が神戸港から輸出されたものです。

コーヒー輸入が神戸港から始まり、150年後にはコーヒー輸出日本一が神戸港・・・これから飲むコーヒーやカフェオレの味が少し違ってくるかも？

※ 150年前にコーヒーの輸入を始め、日本最古のコーヒー店を開いた『放香堂』は、今も神戸元町の地にあります。

## 出前授業のテーマ ～神戸港と兵庫の産業～



平成29年1月1日、神戸港は開港150周年を迎えました。

この神戸港の長い歴史があったからこそ発展した産業が数多くあり、また、兵庫県の産業が発展したおかげで神戸港が日本有数の国際港に成長しました。近年では、神戸港を利用して地元や近隣都市の野菜・果物・水産物を積極的に輸出する動きも増え、「ジーンズ」や「柿」、「乾燥なまこ」のように世界的に評価の高い商品が数多く神戸港から輸出されています。また、お線香の原料となる「白檀」の輸入も神戸港が日本一ですが、日本一の線香生産量を誇る淡路島が県下にあるためと言われています。

意外と知られていない兵庫県、神戸市、近隣府都市の産業と神戸港の関わりを知り、地元兵庫の産業や企業のすばらしさを改めて感じてみませんか？

港湾短大神戸校では、「貿易と販売促進」や「神戸港と兵庫の産業」などをテーマに出前授業を行っています。

## 開催について

### 【会場】

ご指定の場所にお伺いいたします。

### 【開催日】

ご相談ください。

### 【内容】

ご希望の内容をご相談ください。

下記は、これまでご依頼いただいた内容の一部です。

- ・ 貿易と販売促進
- ・ 神戸港と兵庫の産業
- ・ 神戸港の貿易を支える職業

### 【実施可能人数】

ご相談に応じます。

### 【経費】

講師への報酬、交通費は不要です。

会場費および資料の準備印刷は、お申し込み側でご負担をお願いいたします。

## お問い合わせ・お申し込み先

港湾職業能力開発短期大学校神戸校 学務課

電話：(078)303-7326

ご不明な点等がありましたら上記電話番号よりご連絡ください。